

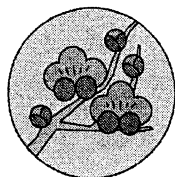
# 「応答的かかわりと子どもの人権」

＝大東市人権問題研修会＝

日 時：平成26年2月19日（水）午後7時～

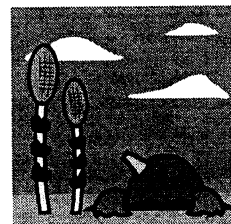
場 所：大東市立総合文化センター（多目的小ホール）

主 催：大東市教育委員会



講 師：住友 剛 さん

京都精華大学人文学部



様々な団体で活躍し、積極的に地域活動等をされている皆さんに、何故、人権の視点が必要なのか、この機会に、人権についてじっくりと考えてみてはいかがでしょうか。

家庭や地域で大人たちが人権の視点に立って、どのように子どもたちに関わりを持ってほしいのか。講師の先生から「子どもの権利条約」の視点などをふまえて、いじめ問題、体罰や虐待の問題など、最近の子どもたちの置かれている状況をご紹介して頂きながら、「子どもの話を聴く」ということや「遊び」の大切さ、学校と家庭・地域社会の関係、子どもの居場所づくりの在り方などについて、考えてみましょう。

## プロフィール

住友 剛（すみとも つよし）1969年生まれ、神戸市出身。

関西大学大学院文学研究科博士後期課程を単位修得後退学。その後、兵庫県川西市の子どもの人権オンブズパーソン調査相談専門員を経て京都精華大学へ就任。

著書に『はい、子どもの人権オンブズパーソンです』（解放出版社）、共著に『子ども・権利・これから』（明石書店）、『子どもの声を聴く』（明石書店）、『日本近代公教育の支配装置』（社会評論社）がある。